

# ゆりかごから墓場まで

## 朝霞市で暮らす生涯設計を考える



0歳・出生



6歳・義務教育スタート

15歳・高校進学

### ●朝霞市の課題

- ・コンビニ前と学習塾以外に放課後行く場所が市内にない

15歳以降～就職

結婚など家族の形成

### ●朝霞市の課題

- ・住宅費負担が高い

子の誕生

### ●朝霞市の課題

- ・出産できる場所が少ない
- ・産後の生活支援がない



### ●日本の課題

- ・雇用の不足と凄惨な就職活動
- ・労働組合のない職場が多く、就職後の雇用保護のシステムがない
- ・高卒者の就職口を守る仕組みがない



### ●朝霞市の課題

- ・若い住民に頼れる親族が近くにいない
- ・朝霞台周辺の深刻な保育園不足
- ・専業主婦の孤立
- ・子どもにとって安全でない道路等

子の義務教育スタート

子の高校進学

子の就職

### ●朝霞市の課題

- ・家庭医をする開業医が少ない
- ・朝霞台中央病院の混雑
- ・高度医療への不安

退職

### ●日本の課題

- ・住宅の老朽化に対する修繕コストの負担

### ●朝霞市の課題

- ・人生の最期を自宅で看取る医師がほとんどいない
- ・人生のエンディングについて考える機会がない



ご臨終

ファイナンシャル・プランナーのように人生のリスクをお金で評価して、生活設計を支援してくれる仕事はあります。しかし、お金だけでは解決しない人生のリスクをフォローする福祉は、まだ国も朝霞市も十分に整備していません。それは個人の努力だけでは解決できません。運良くリスクに遭遇しない人が、リスクに遭遇した人を助ける「社会連帯」の考え方で行われる福祉の整備が欠かせません。またそのための合意形成は政治や行政の仕事です。

私は社会保障や公共サービスを専門分野として仕事をしてきました。今度は朝霞市という地域をステージに仕事をしたいと思っています。



## ○もっと良くなれ保育園 子どもと保護者を応援する朝霞市に

仕事に就いている女性の割合は年々高まっています。共働きが珍しくない時代に、仕事をしながら子育てをする市民を支えることが必要です。そのために保育園を良くしたいと考えています。具体的には20時まで開所や、産休明けからのゼロ歳児保育の実施、病児保育やそれに代わるものの整備などが大切です。



## ○保育園の充実が第一歩 人生トータルで支える朝霞市に

現役の若い世帯が困っているときに助けられた経験を持てば、病気の人や介護・介助が必要な人を自治体が支えることに理解が広がります。みんなで支え合い、安心できる自治体にしていくことが、良質なまちにします。働く世代がその実感をもってもらう、その第一歩が保育園の充実です。



## ○朝霞市の仕事のやり方を変えていきたい

人生で助けが必要なもの、介護や介助、病気、失業、住宅問題、災害など様々な場面が考えられます。市民参加で問題を考え、朝霞市役所の努力できること、市民の力を組み合わせて、安心のある住宅都市づくりを提案していきます。私は、朝霞市役所の仕事のやり方を変えて、福祉による安心づくりのために力を発揮します。



## ○青少年の「居場所」をつくる

児童館などを活用し、中高生の居場所づくりと人間関係づくりを進めるよう提案します。公共施設から若者を閉め出す政策を改めさせ、コンビニや繁華街でたむろするしかない状況を改善します。



## ○生活重視で高齢者の「安心」をつくる

生きてきてよかった、と思えるためには高齢期や人生の終末での安心感、満足感が大切です。退職後の人間関係づくりの支援、かかりつけ医とのマッチング、自宅で受けられる医療の充実などに取り組みます。



## ○マンション住民に「安心」をつくる

マンション住民に永住できる安心をつくるため、業者任せにしてマンション管理組合の運営や財政が破綻しないよう朝霞市による啓発・助言・相談を充実させます。



## 私も「くるかわしげる」さんを応援しています



黒川さんは、市民参加を通して「まちづくり」に深く関わってきた即戦力です。  
和光市長 松本 武洋

黒川さんの子どもと子育て家庭へのやさしい目線は、今の政治に一番ほしい力です。  
東洋大学教授 森田 明美

